

JR東海労
大二運分会

交差点

No.447
2015年8月20日
責任者：今田昌二
発行：教宣部

訓練指定！ 実感できる配慮を！

ここ最近、気象状況は過去の記録をはるかに凌ぎ、全国的な猛暑により熱中症被害が多発しています。

JR東海をはじめ、JR他社においても社員の熱中症が発生しています。

会社は、水分補給や睡眠、食事など体調管理維持について啓発をしています。しかし、8月の車掌訓練の訓練指定は前訓練で2時間31分待ち、後訓練でも2時間を超える待ち時間となった乗務員もいました。また、午前の訓練で訓練終了から出勤まで5分しかない昼食不可の前訓練指定など、月の初旬で別な行路に充当できるにも関わらず、なんら配慮されていない実態でした。

このような訓練指定について、ベテランの良識ある乗務員が、伴営業科総括助役に配慮するように要望したところ、**伴助役は何と「配慮している」と怪訝（げげん）な対応**でした。

まさに伴助役の言っている「配慮している」とは全く実態とはそぐわない、常識を疑いたくなる対応でした。

**「体調管理」は口先だけだ！
「実感できる配慮」をすべきだ！**